

## 松岡友希さん、畠山航平さん、柿澤翔さんが日本地球惑星科学連合 2018年大会学生優秀発表賞を受賞しました。

本拠点教員の指導学生である、松岡 友希さんと畠山 航平さん（指導教員：片山郁夫教授）、及び柿澤翔さん（指導教員：井上徹教授）が2018年5月に千葉県幕張メッセで開催された日本地球惑星科学連合2018年大会において学生優秀発表賞を受賞しました。学生優秀発表賞では600名を超える学生のエントリーがあり、各セクションにおけるエントリー数の約5～10%が「優秀発表」として選定されました。受賞者には後日、賞状と記念品が贈呈されます。

松岡 友希（M1）

レオロジー構造に基づく火星内部での水の存在の検証

畠山 航平（D2）

アウターライズ領域での蛇紋岩化の定量的な評価に向けた蛇紋岩の弾性波速度の測定

柿澤 翔（特別研究学生、愛媛大学 D3）

Alに富む superhydrous phase B の安定性及び置換様式

2018年大会学生優秀発表の全受賞者については以下のウェブページをご覧ください。

<http://www.jpgu.org/awards/ospa.html>